

時間内に復旧できるよう対策を講じるBCPの手法が、情報システムのリスク管理にも応用できると判断した。

初年度は県内で15件

の受注を目指す。飯島

章仁社長は「システムの問題点をチェックし、業務の改善につながる提案をしたい」と話している。

システム復旧提案

コンピュータ 洋 BCP 手法応用

中小企業向け

コンピューター販売などの三洋コンピュータ（岡山市北区辰巳）は、災害時に情報システムを早期復旧させるための中小企業向けコンサルティング事業を

始めた。自社でBCP（事業継続計画）を策定した経験を生かし、効果的な対策を提案する。システムの現状や業務の実態を調べて、目

度の企業が対象。会計、販売、生産管理などシステム全般に対応する。価格は10台までが5万円、20台までが10万円。同社は前年度、岡山県産業振興財団の支援を策定。会社の中核事

業を明確にして、所定の進め方などを提案す

る。2年創立の三洋本社。会社分割により2012年、日本電通（東証2部、大阪市）の子会社として新設された。資本金1千万円。従業員18人。売上高4億5千万円（13年3月期）。

（長田憲司）